



Happy Wedding

@山のおん

未来への種



塩づくりを体験するアヌラダ・ヴィデュサンカさん



折り鶴で百羽鶴を作ったハンサニ・ピユミラさん

山

武市の自然、社会、文化、スポーツに触れ、
日本を理解するため、
スリランカから2人の少年少女がやってきました。

10月22日から29日までの8日間、青少年相互交流事業の一環としてスリランカから青少年2人と随行された先生1人の計3人の招へい者が山武市を訪れました。

今回、山武市を訪れた青少年はアヌラダ・ヴィデュサンカさん（18歳）とハンサニ・ピユミラさん（15歳）。アヌラダさんは陸上400メートルハードル、ハンサニさんは卓球のスリランカを代表する選手で、2020年の東京オリンピック・パラリンピックへの出場も大いに期待されています。

随行の先生を含めた3人は山武市内の各地を視察するとともに多くのの人々と触れ合い、親交を深めました。また7泊8日の旅程のうち3泊は市内の家庭にホームステイをし、日本の家庭生活を経験しました。



スリランカは日本と同じ島国で、北海道の約8割の国土に8つの世界遺産があります。



ポロンナルワ遺跡群の涅槃像（世界遺産）

滞在中の主な活動

学校体験

26日には山武中学校を訪問し、授業や部活動を体験しました。

また、体育館で行われた歓迎行事には内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部の視察があり、国からも注目を浴びました。

文化体験

滞在中には茶道、弓道、書道、着付けなどさまざまな文化を体験しました。弓道体験では的当てに夢中になり、終わった後も「もう一回やりたい」などの声が上がっていました。

ホームステイ

23日から26日まではホームステイを体験しました。食事やお風呂など日本とスリランカでは風習の違いが多く、その違いもまた楽しい思い出となったようです。

スポーツ交流

25日にはアヌラダさんは陸上、ハンサニさんは卓球のそれぞれの競技種目で市内の児童・生徒と交流しました。2人ともスリランカを代表する選手としての実力を発揮し、さすがの強さを見せていました。



From
Sri Lanka

「また山武市にきたい」

ハンサニ・ピユミラさん

「日本の味噌汁が
美味しかった」

アヌラダ・ヴィデユサンカさん

2人は日本での思い出を「味噌汁は美味しかった」、「ホストファミリーが本当の家族のように接してくれてうれしかった」と話し、「また、山武市にきたい」と山武市を好きになつてくれた様子でした。

また、すっかり打ち解けたホストファミリーとお別れの際には涙を浮かべ、温かいおもてなしに心から感謝していました。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックにはスリランカの代表選手として、山武市に戻つて来てくれることを願っています。

「日本の文化に触れる機会を与えて
くださった山武市の皆様に感謝」

シロミ・クルップ先生



①市内の中学生とトラックを走るアヌラダさん②ホストファミリーと買い物を楽しむハンサニさん③茶道体験をするアヌラダさんとハンサニさん④大盛り上がりの弓道体験⑤7月にスリランカへ行った研修生と一緒にお互いの国の民族衣装を着て文化交流⑥ホストファミリーとの別れを惜しむハンサニさんとシロミ先生